

テーマ1 富士市の未来を作る「地場産業イノベーション」

課題	パルプ・紙・紙加工品の付加価値向上
現状の取組と課題	・「紙のまち」である富士市は製紙業を中心に、高い技術力を持つものづくり企業が多数立地。 ・石油由来資材の代替としてパルプ・紙・紙加工品の活用促進を図っている。 ・人手不足や資材高騰などの製紙業が抱える課題に対して、デジタル技術の導入等による高付加価値化や生産性向上を図ることが急務となっている。
実現したい未来	1.紙が「サステナブル社会の主役」となる 2.富士市が「紙のイノベーション拠点」となる 3.培った技術とデジタルが融合した「次世代の工場」が稼働する 4.「富士の紙」が世界ブランドとなる
募集する スタートアップ等 のイメージ ※右記記載以外にも、自由にご提案ください。	【新素材・環境分野】 ・耐水性や耐久性といった新たな機能を紙に付与し、付加価値を高める素材や加工技術 ・建材や農業資材など、これまでにない分野で紙の用途を切り拓く製品開発 ・製紙工程で生まれる副産物や未利用資源を、価値あるものに転換するアップサイクル事業 【DX・生産性向上分野】 ・熟練技術者の持つ勘やコツが見える化し、円滑な技術継承や人材育成を支援する事業 ・工場内での資材運搬や検品・梱包といった、定型的な作業の省力化・自動化 ・受注から生産、在庫までを一元管理し、工場全体の生産性を最適化する仕組み 【新市場創出分野】 ・デザインや企画の力で、地域の特産品などのブランド価値を高めるパッケージ開発 ・照明器具や家具、建材など、「暮らし」の領域に紙の用途を広げる製品・サービスの創出
アセット	富士市産業政策課、富士製紙協同組合など民間事業者、富士工業技術支援センター

課題	「富士のほうじ茶」の付加価値向上
現状の取組と課題	・ 価格競争や生産コスト高騰により、生産者の経営環境は厳しい。 ・ 生産支援・競争力強化・ブランド力向上・販路拡大支援が必要。 ・ 2021 年から全国自治体では初となる、ほうじ茶のブランド化に取り組んできたが、市内外での認知度向上が課題。
実現したい未来	1. 「富士のほうじ茶」が、指名買いされるプレミアムブランドになる 2. ほうじ茶が、多様なライフスタイルに溶け込む 3. テクノロジーで、生産者が豊かであり続けられる 4. 富士市で「ほうじ茶」を使った体験・コト事業が展開されている
募集する スタートアップ等 のイメージ ※右記記載以外にも、自由にご提案 ください。	【生産技術・商品開発分野】 ・ 生産者の経験や勘をデータ等で補強し、茶葉の品質安定化や価値向上を実現する事業 ・ ほうじ茶の新たな魅力を引き出す、スイーツ・ドリンク・食品等の新商品の企画開発 ・ ほうじ茶の製造工程で出る茎などを活用し、新たな価値を創造するアップサイクル事業 【ブランディング・販路開拓分野】 ・ 生産者の想いや産地の物語を掘り起こし、共感と呼ぶストーリーでブランド価値を高める事業 ・ 首都圏のセレクトショップや海外市場など、新たな顧客層にアプローチできる販路開拓の仕組み作り ・ 毎月異なるお茶が届く等、顧客と継続的な関係を築く新たな販売モデルの構築 【体験デザイン分野】 ・ 茶畑の景観や生産者との交流を活かした、五感で楽しむユニークな体験プログラムの企画 ・ 地域の飲食店や宿泊施設と連携し、ほうじ茶と地域の食・文化を堪能できる機会づくり ・ 地域の古民家などを活用し、多くの人が集う「ほうじ茶」をテーマにした拠点づくり
アセット	富士市農政課、農業組合など市内民間事業者
イメージ写真	

課題	FUJI HINOKI MADE のブランド価値向上
現状の取組と課題	・富士ヒノキ（※）及び FUJI HINOKI MADE（※）の市内外の認知度が低い ・木材全体の価格競争や需要減少等により、販路拡大が進んでいない ・木育の一環として、6 か月児検診や5 歳児検診において、富士ヒノキ製の玩具をプレゼントしている。 ・木材利用を増やすために、富土地域の木材を使用した住宅建築やリフォームに対して補助金を交付している。 ※富士ヒノキ：富士山南麓で生産されたヒノキ。ゆっくりと育つため、年輪が細かく白い木肌が特徴。 ※FUJI HINOKI MADE：フジヒノキメイド有限責任事業組合が認定した工場生産・販売する木材ブランド。
実現したい未来	1.「富士ヒノキ」が、人々の生活に溶け込む 2.市民が森と共に暮らす文化が根付く 3.川上（林業）から川下（製品開発・販売・サービス）まで、新たなビジネスが次々と生まれる
募集する スタートアップ等 のイメージ ※右記記載以外にも、自由にご提案ください。	【ヒノキの価値を暮らしに届ける「商品開発・ブランディング」分野】 ・ヒノキの香りや成分を活かした、コスメ、アロマ、日用品など、木材以外の用途での商品企画・開発 ・現代の住空間に合う、デザイン性の高い家具やインテリア雑貨、オフィス用品などの企画・販売 ・これまで利用価値が低いとされた端材や木の粉などを活用した、アップサイクル商品の開発 【森と人をつなぐ「体験・サービス」分野】 ・森林空間を活かしたウェルネスプログラム、企業研修、ワーケーションなど、新たな体験サービスの提供 ・親子で参加できる、ヒノキ材を使った小物や家具づくりのワークショップなど、「木育」の推進事業 ・消費者が生産者や木材のストーリーに触れながら商品を購入できる、ウェブサイトや店舗の運営
アセット	富士市林政課、富士市森林組合などの林業事業体、民間事業者
イメージ写真	